

事 務 連 絡
平成24年2月17日

各競技団体事務担当者 殿

財団法人岡山県体育協会事務局

日本体育協会公認スポーツ指導者資格の登録に関するルールの見直しについて

平素より、本会の諸事業にご理解ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり、日本体育協会公認スポーツ指導者資格（以後、「公認資格」）の有効期限は4年間です。有効期限内に義務研修を受講しなかった場合には、公認資格を失うことになっております。

ただし、公認資格喪失後4年以内であれば義務研修を受講し、復活申請を各都道府県体育協会に行うことにより、公認資格を復活することができました。

しかし、この公認資格復活についてのルールが見直されたことにより、公認資格の競技別指導者資格（指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチ・教師・上級教師）の復活（再登録）申請先が各都道府県体育協会より、**各都道府県競技団体および各中央競技団体**へ変更となりました。

詳細につきましては、次の別添資料をご確認いただき、貴団体で該当者がおりましたら所定の手続きを行ってくださいますようお願いいたします。

なお、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

記

○別添資料

- ・「これまでの復活と今後の再登録の比較」
- ・「日本体育協会公認スポーツ指導者資格再登録にかかる事務手続きの流れ」
- ・「競技別再登録基準一覧」

問い合わせ先
財団法人岡山県体育協会（担当：太田）
〒700-0012
岡山市北区いずみ町 2-1-3 桃太郎アリーナ内
TEL:086-256-7101 FAX:086-256-7105

○これまでの「復活」と今後の「再登録」の比較

項目	現行(復活)	変更(再登録)
申請条件	原則有切(未登)4年以内	<u>資格失効期間に関わらず申請可能。</u>
	研修修了していること	①今後指導活動の予定・意欲があるか、 ②資格登録に値する指導力を有するかを審査。
	団体として必要な人材である	①については申請書に基づき JASA が審査、 ②については専門科目実施の認定団体が判断。 審査方法等は各団体の裁量。(検定や実習を課す等)
	資格の一部復活はできない。	資格ごとの再登録申請(一部復活も可能)
	復活申請は1回のみ可能 復活を承認したが未手続きだった場合は再申請できない。	申請は複数回可能 承認した際に手続きを行わなかった場合は、再度申請をする。
失効1年以内は保留期間として申請なしでも書類を送付	現行通り。	
申請先	指導員⇒都道府県体協 コーチ、教師⇒競技団体 その他⇒日体協 資格により競技団体が一括して窓口となる場合もある。 複数資格保有の場合は1団体にまとめて申請	専門科目実施団体に問合せ 競技別資格は競技団体が受付 複数資格を再登録する場合は資格ごとに申請
審査料	一律 5,000 円を徴収 (団体：2,000 円＋日体協 3,000 円) 複数資格の場合は申請を受けた団体が徴収(何資格でも 5,000 円) 団体(本人)が取りまとめ、JASA 指定の銀行口座に振込む。 未登録の場合は審査料不要	原則不要 団体の審査時に別途検定料等を徴収するかは団体の裁量による。
登録料		再登録時に一律、新規登録料(3,000 円)を徴収
その他		平成 24 年 10 月 1 日付登録より適用

○主な変更点

- ・資格の「復活」から、資格の「再登録」というようになった。
- ・資格喪失の期間に関わらず、原則は必要に応じていつでも再登録できるようになった。
- ・何回でも資格の再登録ができるようになった。
- ・再登録の申請窓口が、県体協から県競技団体および中央競技団体へなった。

○日本体育協会公認スポーツ指導者資格再登録にかかる事務手続きの流れ

1. 資格喪失、新規資格取得後未登録1年未満の場合は、申請手続きをしなくても「資格保留期間」として登録に関する書類をお送りいたします。以下の再登録申請は資格喪失・未登録1年以上経過した場合に必要となってきます。
例) 有効期限2012年3月の場合、2012年4月に未更新でも2012年10月登録及び2013年4月登録の案内が届きます。
※ただし更新の場合は、更新要件（研修等）を満たしている必要があります。
2. 指導者が**競技団体（県もしくは中央）**に申請します。
必要なもの：申請書、審査料（必要に応じて）
※申請先および審査料の有無については、「競技別再登録基準一覧」参照。
※申請書の様式については、各中央競技団体へ問い合わせること。
3. **競技団体（県もしくは中央）**が、本人が資格登録に値する指導力を有するか審査する。
※審査基準については、「競技別再登録基準一覧」参照。
4. 中央競技団体に取りまとめて、日本体育協会へ申請する。
5. 日本体育協会にて今後指導活動の予定・意欲があるか審査する。
※申請書に記載された内容を審査。資格の必要性や活動計画などを記載させる。
6. 審査結果については、競技団体（県もしくは中央）へ通知しますので、本人へご連絡ください。
7. 再登録を認める場合には、日本体育協会より指導者本人へ登録に関する書類をお送りしますので、案内に従って登録手続きをします。
※再登録を承認しても登録手続きを行わなければ登録されません。
※再登録にあたっては、新規登録料3,000円が必要になります。

○競技別再登録基準一覧

競技団体	審査方法について						備考	年数制限	審査料	申請先窓口		
	義務研修	レポート	検定試験	講習会	実技課題	指導者継続				指導員 上級指導員	コーチ 上級コーチ	教師 上級教師
陸上競技		○					レポート課題による審査。	無	¥ -	中央	中央	-
テニス	※○	○		※○			都道府県協会の推薦状 ※義務研修もしくは講習会のどちらかを受講。	無	有切後の経過年数で変化 (4年間8分割)	都道府県	中央	中央
ホッケー		○				※○	本人の実績審査並びに論述による審査。 (今までの活動内容および今後の方針)	無	¥ -	中央	中央	-
アマチュアホッケー		○						無	¥ 10,000	-	中央	-
バレーボール	○	○					義務研修の受講もしくはレポート提出のどちらか。	無	¥ 3,000	都道府県	中央	-
体操	○	○					義務研修の受講もしくはレポート提出のどちらか。	無	¥ -	都道府県	中央	-
バスケットボール	○					○	詳細基準についてはJBAまたは都道府県バスケットボール協会に 問い合わせのこと。	4年	¥ 5,000	都道府県	都道府県	-
レスリング						※○	※過去の経緯および指導実績を勘案して審査する。 審査は報告書提出ののち指導者育成委員会で行う。	無	¥ 3,000	中央	中央	中央
ウエイトリフティング	○						全国指導者研修会 (ウエイトリフティング主催・毎年2月の第一週の土日に行うもの)を受講する。	無	¥ -	中央	中央	-
ハンドボール		○						5年	¥ 3,000	中央	中央	-
自転車競技		○						無	¥ 3,000	中央	中央	-
ソフトテニス	○							無	¥ 2,000	都道府県	中央	中央
卓球		○		○			専門科目研修会参加後のレポート課題合格を条件とする。	無	¥ 3,000	都道府県	中央	-
軟式野球		○						無	¥ 2,000	中央	中央	-
相撲						※○	指導実績により審査する。	無	¥ -	中央	-	-
馬術	※○						馬術連盟指定の義務研修を受講する。	無	¥ -	中央	中央	-
柔道	○						日体協または全柔連が定める研修会を受講する。	無	¥ -	中央	中央	-
ソフトボール		※○		※○			※指導者対象講習会の受講もしくはレポート提出のどちらか。	無	¥ 3,000	中央	中央	-
フェンシング					○			無	¥ 5,000	都道府県	中央	-
バドミントン	○	※○					※コーチ、上級コーチのみ研修会の受講と併せてレポート提出を義務付ける。	無	¥ -	都道府県	中央	-
弓道		○					※加盟団体の登録会員であること。 登録会員→弓道連盟の会員・段位などの資格とは別で更新が必要なもの。	無	¥ 3,000	都道府県	都道府県	-
ライフル射撃		○						10年	¥ 3,000	中央	中央	中央
剣道	※○						連盟主催の研修のみ。	無	¥ -	中央	-	-
ラグビーフットボール	○	○					いずれかの審査を受ける。	無	¥ 1,000	中央	中央	-
山岳	※○						※義務研修は日本山岳協会主催のもの(3時間)のみとする。	無	¥ 2,000	都道府県	中央	-
クレール射撃		○					協会指定の課題レポートの提出。	無	¥ 10,000	中央	中央	-

○競技別再登録基準一覧

競技団体	審査方法について						備 考	年数制限	審査料	申請先窓口		
	義務研修	レポート	検定試験	講習会	実技課題	指導者継続				指導員 上級指導員	コーチ 上級コーチ	教師 上級教師
アーチェリー			○				養成講習会 専門科目の検定試験の受験。	無	¥ 2,000	中央	中央	-
銃剣道	※○	○					両方の審査を受ける。 ※研修会は全日本銃剣道連盟主催のもののみとする。	5年	¥ 2,000	中央	-	-
空手道	○						全日本空手道連盟指定の研修受講が必要。	無	¥ 2,000	中央	中央	-
なぎなた	※○						下記のいずれかを満たしているもの。 ①義務研修会の受講 ②称号取得者 ③審査員、審判員の資格ポイントを過去4年間に3ポイント取得者	無	¥ 2,000	中央	中央	-
水泳コーチ		○					※平成2年(1990年)以降の指導者資格制度改定に伴い登録となった元公認水泳指導者資格(上級コーチ、コーチ、上級教師、教師、上級指導員、指導員、A級、B級、C級)保持者を対象とする。 ※日本水泳連盟ホームページ上の「再登録仮申請書」をFAXにて日本水泳連盟競技力向上コーチ委員会宛に送信すること。 ※申請を許可された者は、レポート課題により審査。審査料の他に、有効期限切れとなっていた期間の研修会費用も徴収する。(例:3年間×6000円=18,000円)	有	¥ 2,000	-	中央	-
水泳教師	※○						※平成2年(1990年)以降の指導者資格制度改定に伴い登録となった元公認水泳指導者資格(上級コーチ、コーチ、上級教師、教師、上級指導員、指導員、A級、B級、C級)保持者を対象とする。 ※日本水泳連盟ホームページ上の「再登録仮申請書」をFAXにて日本水泳連盟水泳教師委員会宛に送信すること。 ※申請を許可された者は、日本スイミングクラブ協会による義務研修を経過年度分受講(4年毎に1回)し、本申請をすること。	有	¥ 2,000	-	-	中央
水泳指導員	○						※平成2年(1990年)以降の指導者資格制度改定に伴い登録となった元公認水泳指導者資格(上級コーチ、コーチ、上級教師、教師、上級指導員、指導員、A級、B級、C級)保持者を対象とする。 ※日本水泳連盟ホームページ上の「再登録仮申請書」をFAXにて日本水泳連盟地域指導者委員会宛に送信すること。 ※申請を許可された者は、都道府県水泳連盟による義務研修会を最低1回受講し、本申請をすること。	有	¥ 3,000	都道府県	-	-
ボート		○		○			日本ボート協会が定める講習会(安全対策Ⅰ)の受講後、指定課題のレポート提出。	無	¥ 5,000	中央	中央	-
セーリング	○		○				申請の前年度及び当該年度での指導実績の報告をさせると共に、セーリング連盟指定課題(指定研修、その後に面接→指導姿勢観察)により審査する。	無	¥ -	都道府県	都道府県	-
スキー	全日本スキー連盟に問い合わせる。											
スケート	○						義務研修受講を確認したのち、委員会で審査。	無	¥ -	中央	中央	中央
アイスホッケー		○						無	¥ 3,000	中央	中央	中央
ボウリング	○						所属連盟(都道府県競技団体もしくはプロ協会)代表者からの再登録願い書類の提出および研修会の受講。	4年	¥ -	中央	中央	-
カヌー		○						無	¥ 2,000	都道府県	中央	-
ゴルフ	○							無	¥ -	中央	-	-